

学校名	北部小学校		
ホームページURL	児童・生徒数	6 学年	13 名 全校 107 名
(1) テーマ 【研究テーマ】 「子ども一人ひとりが願いをもって自らの課題に取り組み、自己実現に向けて主体的に追究していける総合的な学習のあり方」 【自己指導課題】 「一人ひとりが自らの課題をもち、主体的に行動できる子どもの育成」 テーマの分類 (- 工)		(2) 活動の単位に○をつけてください 学級・同一学年 ・3～4年 5～6年・学校・ その他 () 該当学年 6 年	
(3) 活動のねらい 子どもたちの願いにもとづく主体的かつ創造的な活動の重視するとともに、児童会および「みどりの少年団」の活動を位置付けるなかで、自ら課題解決を図り自己表出を高め、本校の願う子ども像「ふるさとを知り、ふるさとに学び、ふるさとを大切に作る子ども」の育成を目指していく。			
(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等） 時数（70） - 活動内容 「ふるさと」をキーワードにした総合的な活動の展開 こうぞ栽培と内山和紙作りの体験的活動...昨年度来、内山和紙について調べ学習に取り組んできたことをもとにして、卒業証書作りを目指したこうぞの栽培から手すき作業の過程の体験 ビオトープ「希望の森」造園への取り組み...自然に対する関心を高め、生物の生息環境に配慮したビオトープ造り 絵画「木島平十三景」の制作...ふるさと木島平で自分が一番気に入っている風景を絵画に表現 児童会主催第1回「ふるさと祭」の開催...竹を使った昔のおもちゃ作りやおやき作り等 - 学習方法・形態 ・子どもたち自身が願いの具現化のために、地域目を向けて必要な情報を集めたり、技術的な指導を求めたりしながら実際の企画立案を行い、6 学年が中心となって活動を進める。 - 学習環境 ・総合的な学習の時間および他教科・領域との関連のなかで活動を設定する。 ・総合的な学習と児童会に新設したふるさと委員会および「みどりの少年団」の活動との連携を図る。			
(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等） ・児童会関係の活動は6 学年が中心になるが、各委員会活動は担当職員の協力を得て行う。 ・地域の方（内山和紙体験の家、農林高校職員等）、保護者の方の協力を求める。 ・ビオトープ造りの基礎工事では保護者共同参画の形態をとり、危険防止のために保護者の方の指導助言をいただきながら活動に取り組んだ。			
(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等） ・ビオトープ造りでは長期にわたる作業であったため、夏休みや休日を利用するなどして、時間数の確保を図った。 ・ふるさとを見つめ直す活動であることを根幹に、作文や絵画での表現を重視し各教科との関連付けに留意した。			
(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際） ・願う子どもの姿と表裏である評価の基本的視点は「課題解決」「自己表現」のできる子どもであり、さらに個々の児童に願う具体的な姿を評価観点とする。 ・子どもの自発性を尊重し、自分は何をどうするのかという課題意識もとに、どのような過程をたどりながら達成を目指していこうとしているかを見取る。			
(8) 成果と課題 ・必要となる情報を自ら求め、様々な活動を創造的に生み出していく子どもたちの姿が見られるようになってきている。また、一人ひとりが責任ある立場を経験することを通して、生活や他教科等の学習場面でも自信をもってのびのびと自分らしさを表現したり行動したりできるようになってきている。 ・活動がどのように深まり展開していくのか予測することや、そのための時数の確保がむずかしい。			